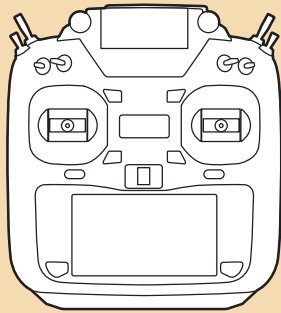


R7208SB/R7308SB の T16IZS/T16IZ を使用したソフトウェアアップデート方法

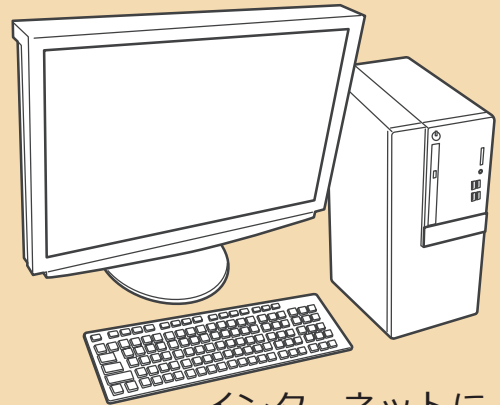
R7208SB/R7308SB は Futaba WEB サイト <http://www.futaba.co.jp/> からデータをダウンロードして最新のソフトへ更新することができます。

※記載されているパソコンの各表示画面は一例です。機種により異なる場合がありますのでご了承ください。

必要なもの



T16IZ V4.0~
T16IZ SUPER V2.0~



インターネットに
接続可能なパソコン



CGY750/GY701/GY520用コード



microSDカード

アップデート手順

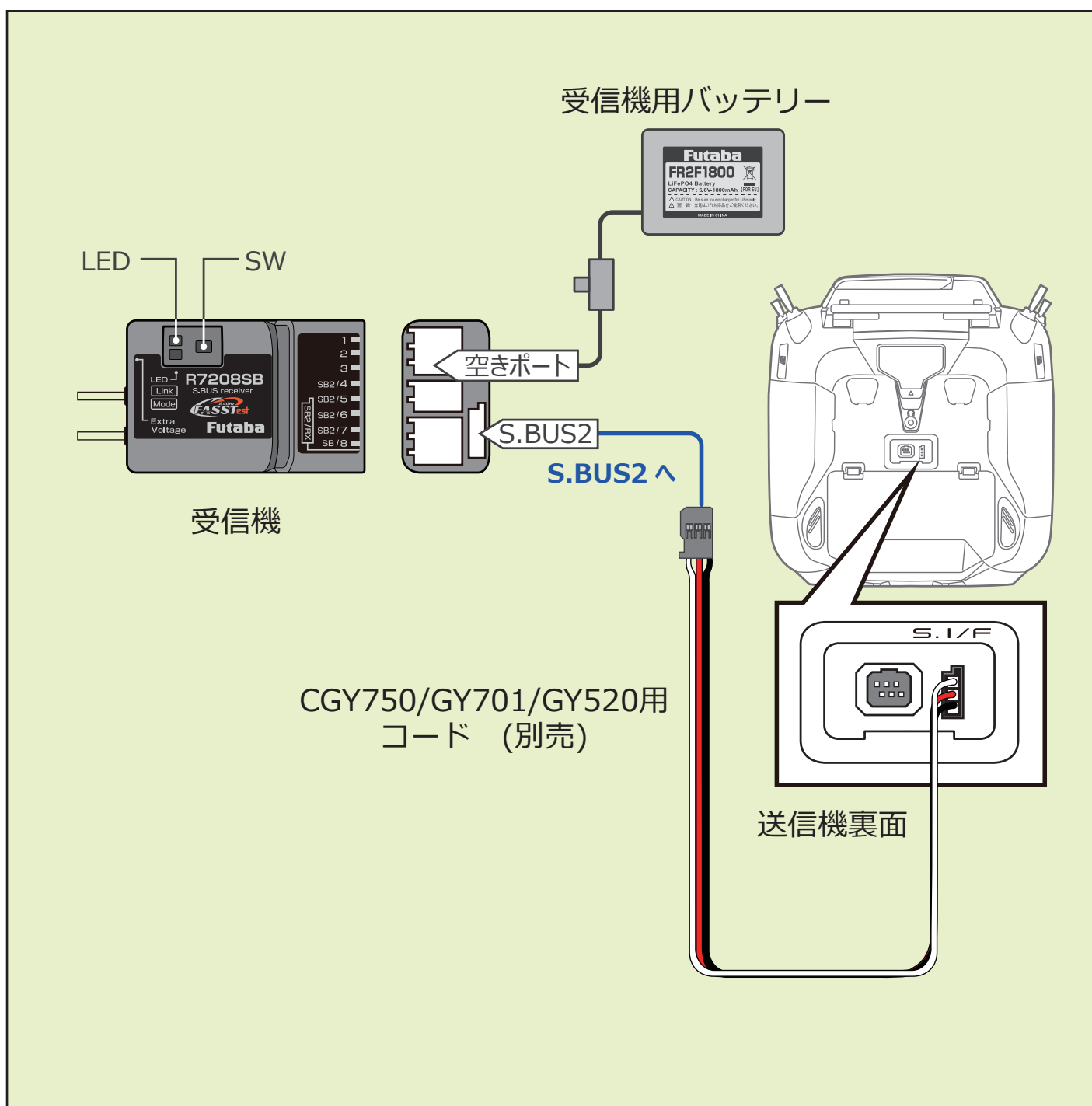
1. アップデートファイルを Futaba WEB よりお持ちの PC にダウンロードします。

<https://www.rc.futaba.co.jp/support/software/>

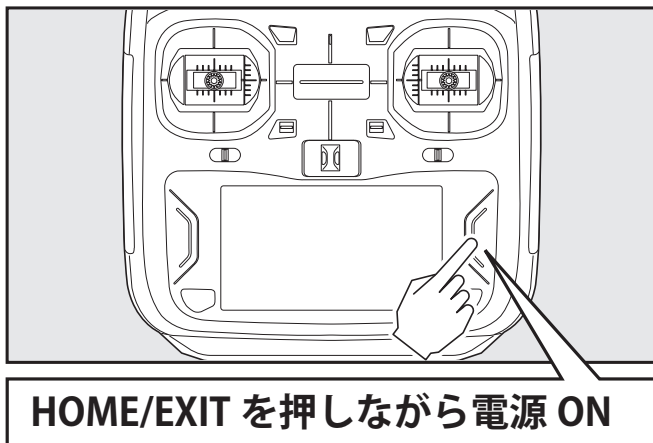


2. ダウンロードしたアップデートファイル (zip 圧縮形式) を展開 (解凍) します。

3. 「FUTABA」というフォルダが作成されますので、そのフォルダを microSD カードにコピーします。
4. 「FUTABA」というフォルダをコピーした microSD カードを送信機に挿入します。
5. 図のように R7208SB/R7308SB と送信機を接続します。



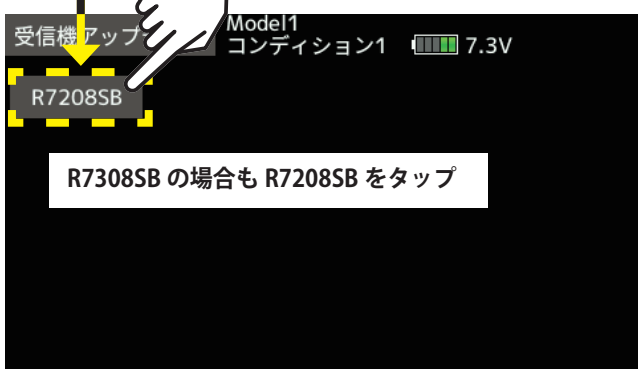
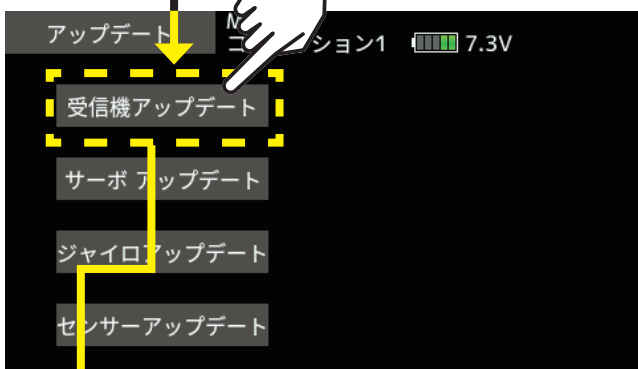
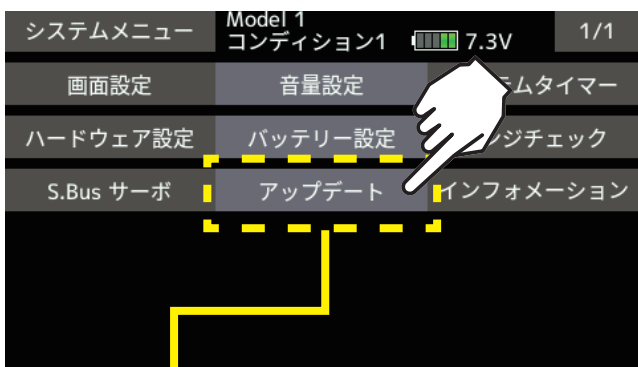
6. 送信機が OFF の状態で、送信機の U.MENU/MON. ボタンを押したまま電源スイッチを押します。
電波が送信されない状態で送信機が動作します。



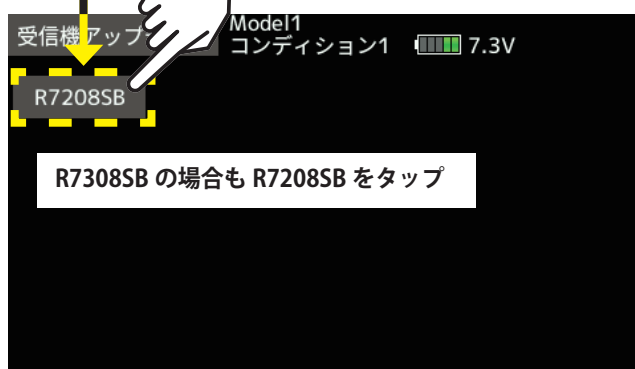
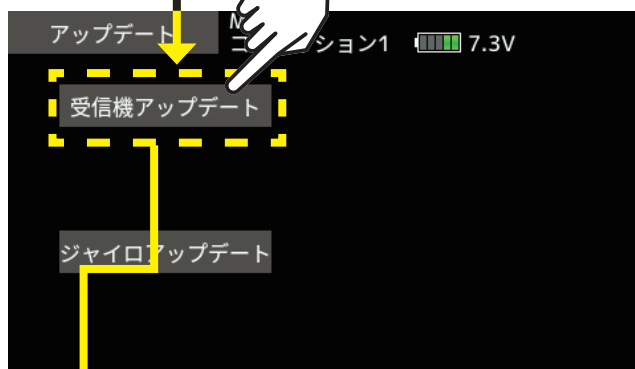
※受信機が電波を受信している状態では、設定を行うことはできません。
※受信機設定後に受信機を使用する場合は、送信機の電源を入れ直して電波を送信してください。

7. 送信機の電源を ON し、システムメニューから [アップデート] を開きます。[受信機アップデート] ⇒ [R7208SB] をタップします。
※ R7208SB と R7308SB のソフトは共通です。R7308SB の場合も R7208SB をタップしてください。
※ CRSF が ON になっている時はアップデートできません。CRSF を OFF にしてからアップデートしてください。

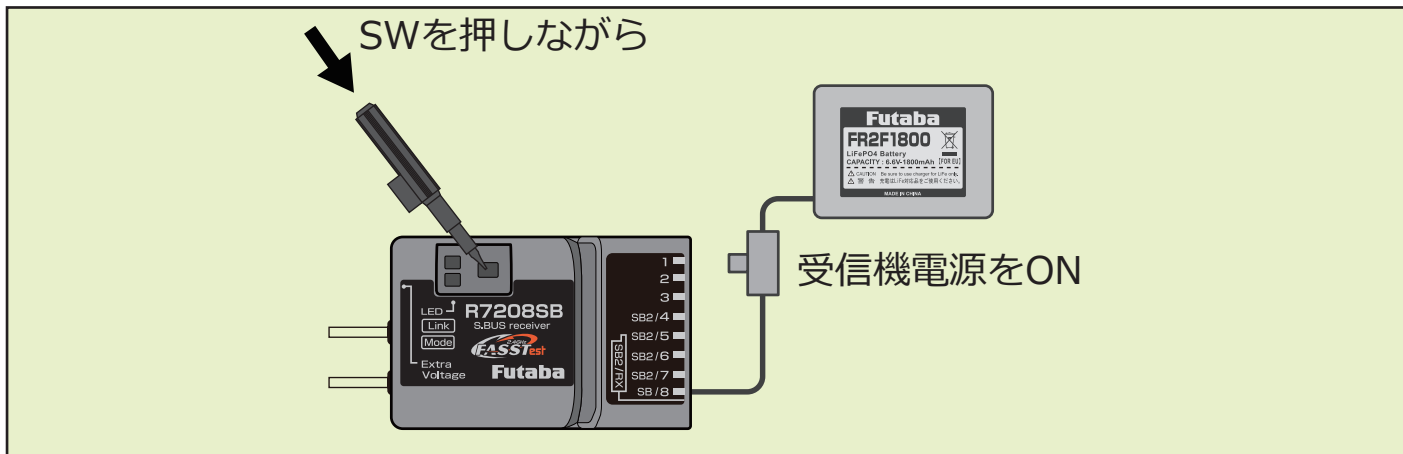
T16IZ SUPER の画面



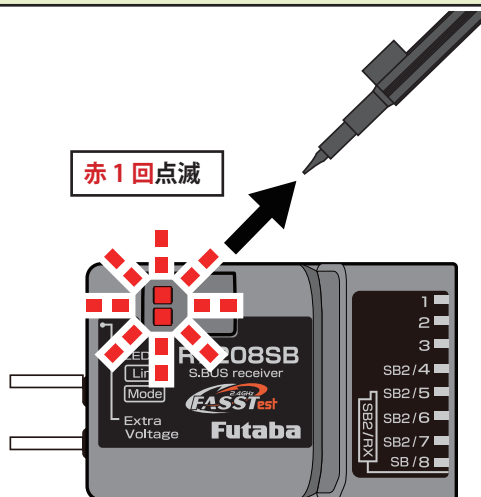
T16IZ の画面



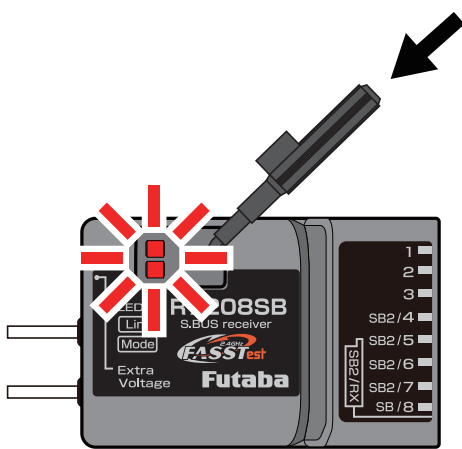
8. SW を押したまま受信機電源を ON します。



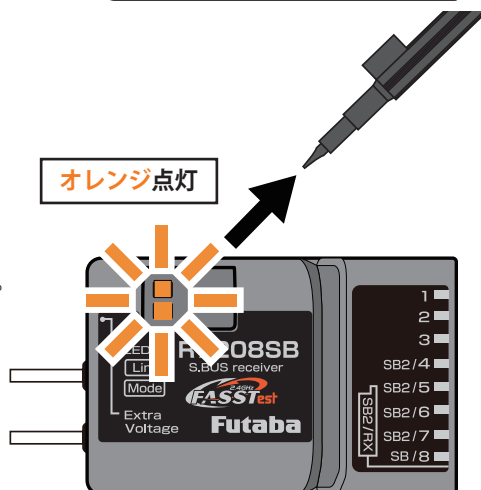
9. 赤が1回点滅したら SW を離します。



10. すぐに SW を長押しします。

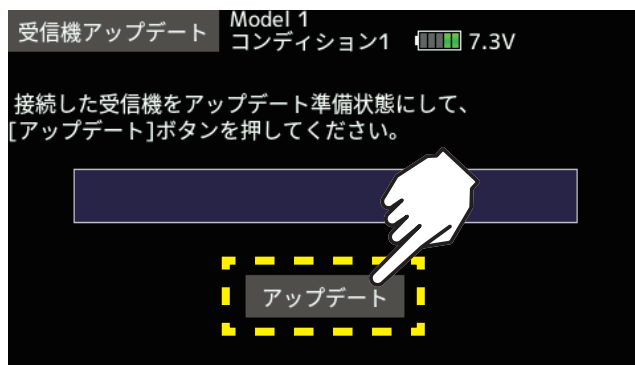


11. オレンジ点灯になったら SW を離します。

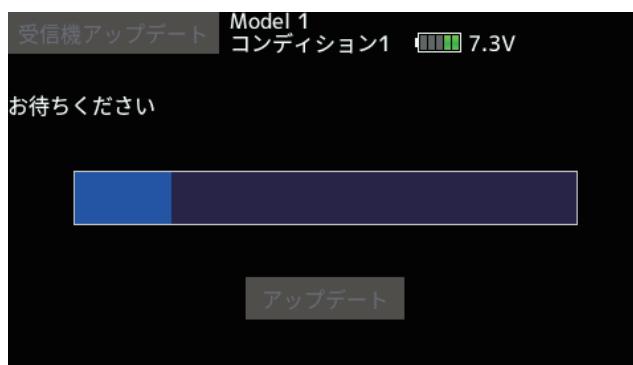


受信機がアップデート待ち状態になりました

12. 送信機の [アップデート] ボタンをタップします。

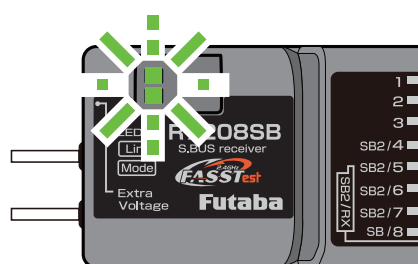


13. アップデートが開始されます。

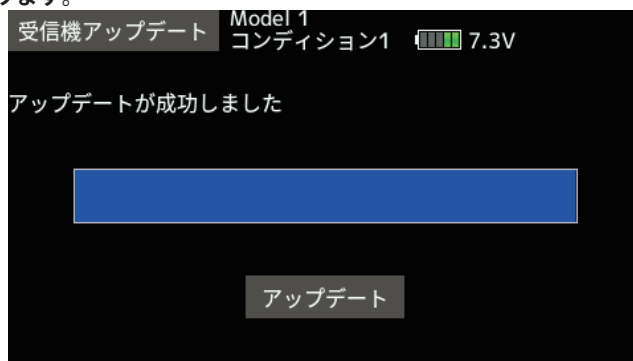


14. アップデート中は、送信機の Update のバーグラフが進行し、R7208SB/R7308SB の緑 LED がチラチラと点滅します。

緑がチラチラ点滅

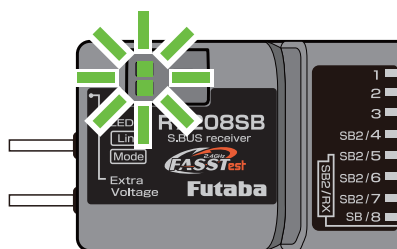


15. 終了すると、以下の表示になります。



16. アップデートが完了すると、R7208SB/R7308SB の緑 LED が点灯します。
送信機に完了のメッセージ・ボックスが表示されます。

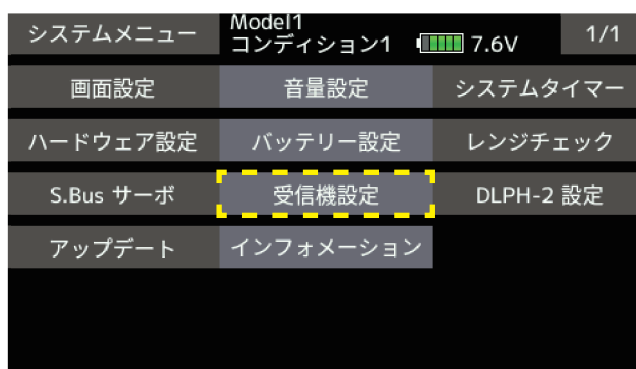
緑点灯でアップデート OK



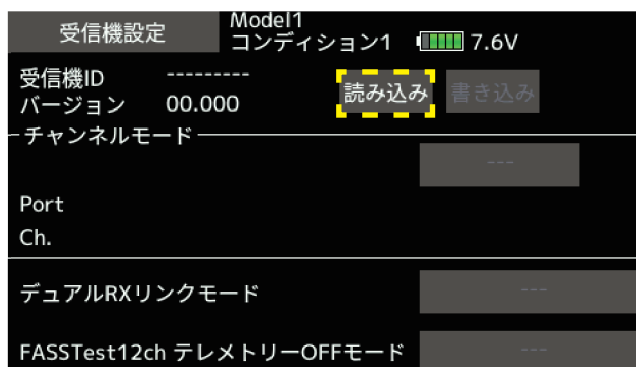
以下は受信機のバージョン確認方法です。T16IZ は V6.0~、T16IZS は V4.0~ から確認可能です。

17. 受信機の電源を OFF してバッテリーをはずします。送信機と受信機は接続したままです。
* バッテリーをはずさないとバージョン確認できません。

18. システムメニューから [受信機設定] 画面を開きます。



19. [読み込み] ボタンをタップします。



20. 受信機のバージョンが表示されます。



以上でアップデート作業が終了となります。電源を OFF し、製品からケーブルを取り外して下さい。
動作確認を行い、正常に動作することを確認して下さい。

V2.0 アップデート内容

- FASSTest26CH に対応しました。
- チャンネルモードを拡張 (MODE H,I,J) しました。

受信機 CH 出力モード一覧表

出力コネクタ	設定チャンネル									
	モード A	モード B	モード C	モード D	モード E	モード F	モード G	モード H	モード I	モード J
1	1	1	1	1	9	9	9	17	17	17
2	2	2	2	2	10	10	10	18	18	18
3	3	3	3	3	11	11	11	19	19	19
SB2/4	4	4	4	S.BUS2	12	12	12	20	20	20
SB2/5	5	5	5	S.BUS2	13	13	13	21	21	21
SB2/6	6	6	6	S.BUS2	14	14	14	22	22	22
SB2/7	7	7	S.BUS2	S.BUS2	15	15	S.BUS2	23	23	S.BUS2
SB/8	8	S.BUS	S.BUS	S.BUS	16	S.BUS	S.BUS	24	S.BUS	S.BUS
LED 点滅回数	赤 1 回	赤 2 回	赤 3 回	赤 4 回	赤 5 回	緑 1 回	緑 2 回	緑 3 回	緑 4 回	緑 5 回

- デュアル RX リンクモードモード時の、DLPH-1/DLPH-2/FDLS-1 と接続時の不具合を修正しました。
- 送信機からの受信機設定に対応しました。

※ FASSTest26CH 使用時は受信機を必ず V2.0 へアップデートしてください。
 ※ T16IZ,T16IZS は 17ch 以降の操作はできません。

V1.3 アップデート内容

- FASSTest12ch テレメトリ OFF モード使用時に受信エラー時 F/S が働かない不具合を改善しました。
- テレメトリー回転センサー (SBS-01RM/RO/RB) の回転数表示が 0 にならない不具合を改善しました。
- R9001SB とデュアル RX リンクモード使用時にバッテリーフェールセーフ状態になった際にバッテリーフェールセーフ設定 CH がジッタする不具合を改善しました。
- FASSTest12ch モードで R9001SB とのデュアル RX リンクモード使用時に操作レスポンスを改善しました。

このシリアルナンバーが 2349 ~ 2353 が V1.3 アップデート対象品です。

2354 以降は V1.3 アップデート対応済です。

今回のアップデートは不要です。

受信機裏面



このシリアルナンバーが 2349 ~ 2353 でも下の写真のように白マルシールが貼ってるものは V1.3 アップデート対応済です。今回のアップデートは不要です。

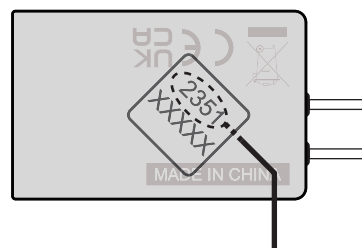


受信機側面

V1.1 アップデート内容

- 一部に送信機とリンクできない場合がある問題を修正しました。

受信機裏面



このナンバーが 2351 以前の受信機が V1.1 対象です。2352 ~ の受信機は V1.1 アップデートの必要がありません。